JA静岡経済連

KEIZAIREN 情報 1

2021.01　NO.1276

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

特別企画　新春対談

松永大吾　経営管理委員会会長　ガーベラ女神大使女優・歌手　天玲美音さん

特別企画 新春対談

県知事へいちごを贈呈するいちご娘

Main topics

特別企画 新春対談 ……01
松永大吾 経営管理委員会会長・女優歌手 天玲美音さん

topics&news

品質の高さをPR
静岡いちごを県知事に贈呈 ……03
いちご農家の所得向上を
令和2年度 静岡いちご販売対策会議 ……03
出荷最盛期を前に
「うまレタ。」販売対策会議と目揃会を開催 …04
静岡産レタスのPR
県部長に「うまレタ。」を贈呈 ……04
県産品の魅力発信
JAタウン商品開発会議を開催 ……04
県下初導入
JASS-PORTおがさにモバイルSSC端末を導入 …05
営農経済事業の強化を
令和2年度 第1回静岡県JA営農経済部長会 …05
野菜や種子について講義
御殿場西高等学校で「農業マイスター講座」… 05

営農支援だより

水稲の害虫……06

最新研究紹介　農林技術研究所だより

ウンシュウミカンの効率的な育種を目指して…07
～新たな超晩生温州みかん(S1200)の育成～

お知らせ

建設部からのINFORMATION……09
あぐりんく静岡からのお知らせ ……09
JAタウン しずおか「手しお屋」のオススメ商品 …10
テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 …10

特別企画

新春対談

JA静岡経済連
経営管理委員会
松永 大吾 会長

女優・歌手
ガーベラ女神大使
天玲 美音 さん

会長 あけましておめでとうございます。

天玲さん あけましておめでとうございます。

会長 「けいざいれん情報」の新春特別対談のゲストとしてお越しいただきました「天玲 美音（てんれい みおん）」さんです。どうぞよろしくお願いいたします。

天玲さん 本日はお招きいただきありがとうございます。こちらこそよろしくお願いいたします。

会長 本会の広報誌「けいざいれん情報」で、このような対談企画を行うのは、実は今回が初めてとなります。

天玲さん 記念すべき初のゲストとしてお呼びいただきましてありがとうございます。

会長 天玲さんは宝塚歌劇団で宙組（そらぐみ）に所属していたとお聞きしました。

天玲さん はい、実は宝塚では男役をしていました。「ベルサイユのばら」や「風と共に去りぬ」などに出演しました。公演は長期戦なので、健康維持のためにも毎日お茶を飲んでいて、宙組のみんなにお茶を淹れてふるまったこともあります！ 他県出身の人たちには「急須」が珍しいらしく、急須でお茶を淹れるだけでみんな興味津々でした（笑）

会長 今日は、本会が商品企画をしたブランド茶「静岡茶 揉一（じゅういち）ひとえ」をご用意しました。揉一ひとえには、普通煎茶の「山育ち」と深蒸し茶の「里育ち」の2種類があるのですが、今回は深蒸し茶の「里育ち」をお淹れしました。ぜひご賞味ください。

天玲さん ありがとうございます。飲む前に目で緑を楽しめますね！ では、いただきます…美味しいです！ 飲んだ瞬間、まろやかなお茶の風味が口の中で広がりました。

会長 「揉一ひとえ」は県内の11JAが地元で収穫された茶葉を持ち寄り、オリジナルブレンドで仕上げたお茶です。県内の様々な産地の

お茶の良いところを集めてブランド化しています。

天玲さん 飲み終わった後も奥深さを感じます！ お茶を作ってくださった方の愛情たっぷりの味ですね。お茶を飲むと心が落ち着きますよね。小さい頃から大好きです！ お茶は身体にいいですよね。

会長 天玲さんがおっしゃるとおり、お茶にはいろいろな機能があり、ストレスの緩和やインフルエンザなどのウイルス感染を防ぐことが明らかになっています。新型コロナウイルス感染症にも効果があることが期待されていて、現在研究が進んでいます。

天玲さん お茶は美味しいだけでなく、機能面でもとても優秀ですね。これからの時期はインフルエンザも流行するのでお茶を飲んで健康に過ごしたいですね。新型コロナウイルス感染症への効果にも期待したいですね。静岡にはお茶以外もいろいろな農産物がありますよね。

会長 静岡は温暖な気候を活かして多品目の農産物を生産しています。中でもお茶やワサビ、天玲さんが女神大使を務めるガーベラは全国1位の産出額です。

天玲さん 食材の王国カタログを拝見しましたが、本当に多くの種類の農産物が静岡にはあるのですね！ 知らなかったです。

会長 つい最近の話題ですが、12月18日に「お米日本一コンテストinしずおか」が開催され、全国の米どころから集まった美味しいお米およそ600点のなかで、JA御殿場青壮年部高根支部のコシヒカリが実行委員会会長賞（特別最高金賞）を受賞し日本一となりました。静岡県産のお米が日本一となったのは17回開催された同コンテストで初めての快挙です。

天玲さん おめでとうございます！ 静岡のお米が日本一ですか！ そのような生産者のみなさんの努力があって私たちは美味しい農産物を頂けるのですね。2020年は新型コロナウイルスが猛威を振るいましたが、生産者の皆さんへの影響はいかがでしょうか？

会長 飲食店の営業自粛やイベント中止の影響がとても大きいです。高級食材やお花などを中心に影響が大きく、生産者は大変苦労しています。こうした農産物を支援するため、地域のみなさんに地元の農産物の魅力を知ってもらうためドライブスルー販売や地産地消の販売会を開いたり、全国の消費者の皆さんへ県産品をお届けするためインターネット通販に力を入れてきたりしました。インターネット通販では県と連携した事業「バイ・シズオカ」に取り組み、全国のお客様に静岡の農畜産物をお届けしています。

天玲さん さまざまな工夫をしているのですね。去年は本当に大変な年になってしまったので、今年は良い年になることを願いたいですね。

会長 天玲さんからぜひ生産者へ激励のメッセージをお願いします。

天玲さん 生産者の方々のおかげで豊かな暮らしを送ることができているのだと心より感謝しています。私もイベント等中止になってしまう日々が続きましたが、健康でいられることがどれだけ有難いか痛感しました。そして、「自分に今できる事は何か？」と問い続ける日々でもありました。その答えは、農畜産物の応援が出来たらと思っております！ 笑顔を引き出すお手伝いもさせてください。

会長 心強いメッセージ、ありがとうございます。

天玲さん 会長はいかがですか？

会長 本会は令和2年度から「新時代への挑戦、農業の飛躍、経営の革新」を目指して「JA静岡3か年計画」を策定しました。この計画を着実に実行し、「農家組合員の所得向上」、「組合員や利用者の満足に繋がる事業」に取り組んでいきます。天玲さんも引き続き本県農畜産物の応援をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

天玲さん ありがとうございました！

天 玲 美 音
（てんれい みおん）

静岡県生まれ。宝塚歌劇団出身「ベルサイユのばら」「エリザベート」「逆転裁判3」をはじめ数多くの海外ミュージカルに出演。現在は女優、歌手、モデル、MC、ナレーター、警察署広報大使など幅を広げ、地域貢献にも力を注ぐ。天玲さんの活動については公式HP「miontenrei.com」をご覧ください。

品質の高さをPR

静岡いちごを県知事に贈呈

12月1日、静岡県いちご協議会（事務局・野菜花卉課）の飯田寿夫会長、鷲巣忠芳副会長、横山國男副会長らは、静岡県庁を訪れ、川勝平太静岡県知事、難波喬司副知事、出野勉副知事らに静岡いちごの主力品種「紅ほっぺ」と「きらぴ香」を贈呈しました。本格的な出荷シーズンを前に今年度の生産状況を報告しました。本会の石川和弘常務理事や静岡いちご娘も同席し、消費拡大へ協力を求めました。

飯田会長は「今年は夏の長雨・猛暑と天候が心配だったが、形状も良く実も大きいものができた。果肉が詰まったジューシーな静岡いちごを味わってほしい」と報告。川勝知事は「『紅ほっぺ』『きらぴ香』はまさに農業芸術品。県が実施する『バイ・山の洲（やまのくに）』などの消費拡大キャンペーンを活用し多くの皆さんに味わってもらいたい」と激励しました。

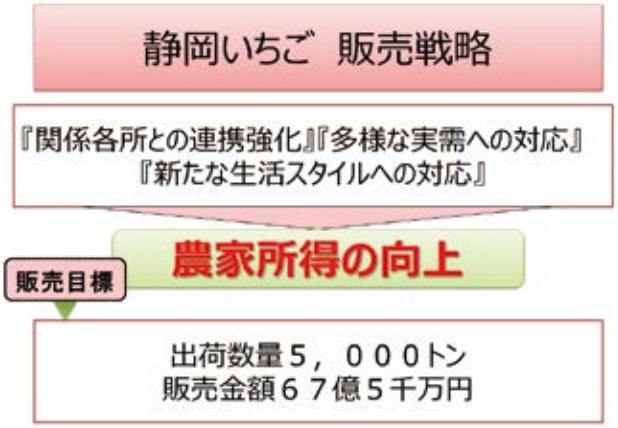
いちご農家の所得向上を

令和2年度 静岡いちご販売対策会議

11月24日、静岡県いちご協議会（事務局・野菜花卉課）は、県農業会館で「令和2年度静岡いちご販売対策会議」と目揃会を開き、県、市場関係者、生産者、JAなどおよそ40人が出席しました。新型コロナウイルス感染防止対策として、京浜地区の市場担当者らはウェブ会議システム「ZOOM（ズーム）」で参加しました。静岡いちごの主力販売先や生産者らと販売戦略の共有を図り、より強固なパートナーシップを築くことが目的。

会議では、JA担当者らから現在の生育状況、市場から消費地の動向などが報告されました。また、従来の店舗での販売促進活動に加え、コロナ禍での新しい生活様式に合わせた販売戦略としてリモート会議の活用や、インターネットやSNSを使ったプロモーション活動の強化を報告しました。今年度の販売目標は、出荷数量5千トン、販売金額67億5千万円とすることを全会一致で決定しました。

会議と同時に行われた目揃会では、本格出荷を前に生産者やJA担当者らと出荷基準を確認しました。



出荷最盛期を前に

「うまレタ。」販売対策会議と目揃会を開催

11月26日、静岡県レタス協議会（事務局・野菜花卉課）は、牧之原市のＪＡハイナン本店で、県下統一の目揃会と販売対策会議を開催し、市場関係者や生産者、ＪＡの担当者らおよそ40人が参加しました。新型コロナウイルス感染防止対策として、京浜地区の市場担当者らはウェブ会議システム「ＺＯＯＭ（ズーム）」で参加しました。県下６ＪＡで出荷している県産レタスのブランド「うまレタ。」の品質の統一と向上、販売先との情報共有を図ることが目的。

協議会では、積算温度に基づく長期的な収穫時期予測や直近の産地状況を伝える「うまレタ～。」などを活用しコロナ禍で不透明な販売状況に柔軟に対応できるよう、産地から正確な情報を市場へ発信しています。また、従来の販売促進活動以外にリモート会議システムなどを使い、新しい生活様式に即した産地と消費地のコミュニケーションを図ることが報告されました。今年度の販売目標は、出荷数量１万３千トン、販売金額32億円とすることを全会一致で決定しました。また、併せて県下統一の出荷目揃会を開催し、生産者やＪＡ担当者らを交え出荷基準を確認しました。

「うまレタ。」は本会の登録商標です。

静岡産レタスのＰＲ

県部長に「うまレタ。」を贈呈

11月20日、静岡県レタス協議会（事務局・野菜花卉課）森一弥会長、北川英行副会長、鈴木保晴副会長らは、静岡県庁を訪れ、天野朗彦経済産業部長、志村信明農林水産担当部長に静岡県産レタス「うまレタ。」を贈呈しました。今年度の静岡レタス本格出荷を前に、静岡レタス統一ブランドである「うまレタ。」を県部長に贈呈し、報道機関の取材を促すことで、静岡レタスをＰＲすることが目的。

森会長らは「うまレタ。」贈呈と併せて、今年の生育状況や生産者の取り組みを報告しました。また、静岡県農林技術研究所と連携し取り組んでいる、日平均気温を使った収穫予測技術についても報告しました。

県産品の魅力発信

ＪＡタウン商品開発会議を開催

12月３日、流通開発課は県農業会館で、ＪＡタウン「しずおか『手しお屋』」商品開発会議を開き、旅行誌編集長やアナウンサーなどの女性有識者らと本会担当者が参加しました。会議は新型コロナウイルス感染防止対策として、リモートによる方式で開催しました。

参加者らは、「買って食べて応援！しずおかのごちそう」と題し、30代～50代女性をメインターゲットに商品を検討し、県産野菜詰め合わせセットや季節の花束、静岡そだち・金豚王しゃぶしゃぶセットなど計15アイテムを選定しました。商品は２月末までインターネット通販サイトのＪＡタウン「しずおか『手しお屋』」特設サイトにて送料無料で提供いたします。ＪＡタウン手しお屋ショップではｗｉｔｈコロナ・ａｆｔｅｒコロナを見据え、県産品の魅力を発信していきます。

県下初導入

JASS-PORTおがさにモバイルSSC端末を導入

12月10日、ジェイエイ静岡燃料サービス㈱は、菊川市のJASS-PORTおがさに県内でも導入が始まったモバイルSSC（セルフ給油所におけるハンディ許可端末）を県下JASSで初めて導入しました。

同機は、監視室に設置されたSSC（セルフサービスコンソール）本体と、スマートフォンタイプのハンディ端末が連動することで、給油許可・停止を安全でスマートにおこなうことができます。このため給油の監視・許可をするスタッフが監視室に常駐したり、ピットなどでの作業中に監視室へ戻ったりする必要が無くなります。この機器の導入により、セルフSSにおけるスタッフの業務効率・生産性を大幅に向上させることができます。

JASS-PORTおがさ土屋和也サブマネージャーは「SSCモバイルの活用により、店頭でのお客様への接客にこれまで以上の力を入れることができる」と話し、SS利用者へ寄り添った店頭対応に繋がることを期待しています。

営農経済事業の強化を

令和2年度 第1回静岡県JA営農経済部長会

11月30日、本会（事務局・JA支援課）は、県農業会館で「令和2年度 第1回静岡県JA営農経済部長会」を開き、JA営農経済担当部長ら46人が出席しました。新型コロナウイルス感染防止対策として、JAの出席者らはウェブ会議システム「ZOOM（ズーム）」での参加となりました。各種の情報交換などを通じて、経済事業の円滑な運営と、系統事業の発展を期するのが目的。

会議では、加藤敦啓代表理事理事長より令和3年度事業計画について、寺田国彦代表理事専務より事業概況について説明しました。

野菜や種子について講義

御殿場西高等学校で「農業マイスター講座」

12月10日、生産振興開発課は御殿場市の学校法人東駿学園御殿場西高等学校で開かれた、農業をテーマとしたマイスター講座で、生徒13人へ「野菜の種類と種子について」講義を行いました。この講座は地域の農業の魅力や実情を理解することを目的に、同校の総合的な学習の一環で23回にわたり開催しています。

講座は、JA御殿場や生産者らが交代で講師を務めており、今回は本会の生産振興開発課の市川健コンサルタントが講師を務めました。

生徒は、野菜の分類や栽培について講義を受けた後、用意された実物の野菜種子20種の品目名をクイズ形式で考える学習を行い、野菜種子への理解を深めました。

営農支援だより

作物・産地・営農・技術・
資材などの情報をお届けします。

水稲の害虫

昨年発生した水稲の病害虫で今年注意しなければならない害虫について記載します。

●スクミリンゴガイ

別名（ジャンボタニシ）一昨年・昨年と二年連続で県内各地で被害が見られました。要因は、暖冬の影響で水田内での越冬数が多く、通常では越冬できない殻高2㎝前後の貝が多数越冬できたことにより、田植後に水温の上昇とともに被害が拡大した。

耕種的防除

①用排水路の整備

越冬場所をなくすため、冬季に泥を上げ寒風にさらして死滅させる。

また、越冬貝の捕殺を行ないます。

②冬季の耕運

厳寒期に耕起し寒さにさらします。トラクターの速度を遅くし、ロータリーは速く細かく耕起します。また、浅水管理が出来るように、レーザーレベラー等で、水田の高低差をなくし均平にします。

③水管理

田植後は水深4㎝以下の浅水管理を行ない、大雨が降った時は速やかに排水します。深水の所は被害が出やすいので代掻きを丁寧にします。

化学的防除

①殺虫剤

水温が上がり防除効果が高くなってから、水田全面に散布します。

※今冬は長期予報によると平年並みの寒さとのことですがスクミリンゴガイの発生密度が高く越冬する貝が多くなることが予想されます。防除効果をあげるには複数の防除作業を組み合わせた防除を行ないます。

●カメムシ類

前年産の集荷した米の等級低下要因としてカメムシによる斑点米が発生し一等級比率が10％程度下がりました。

水稲の重要害虫の斑点米カメムシ類は10数種います。このうち、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカメムシ等の被害が大きく防除を行ないます。

生態

稲を加害するカメムシ類はイネ科の雑草などで生活していることが多く畦畔雑草は好適な寄主植物になります。

越冬はイネ科のススキやチガヤの中や水田近くの常緑樹の中でおこなわれます。

防除対策

畦畔雑草の除草は効果があるので出穂10日前までに除草をします。

作型として、一般に出穂期が早い程被害が大きくまた、休耕田の多いところで発生が多く出穂期前後から乳熟期までの防除が必要です。

●コブノメイガ

生態

雄成虫の翅の前縁に黒紫色のコブのようにみえる部分があり、これが名前の由来です。梅雨の時期に成虫が中国から飛来して、その後水稲を食害しながら年3～4回発生を繰り返すが越冬はしません。

幼虫は葉を縦に綴り筒状にしたり2～3枚を合わせた葉の中に潜み、内側から葉身をかすり状に食害します。特に、上位葉が加害されると被害が大きくなります。

耕種的防除

葉色の濃い稲は被害が出やすいので、窒素過多は避け併せて極端な遅植は避けます。

薬剤防除

発生予察情報に注意して適期防除（若齢幼虫最盛期）を行ないます。

（生産振興開発課　営農コンサルタント　鈴木 秀規）

最新研究紹介

農林技術研究所だより

ウンシュウミカンの効率的な育種を目指して

～新たな超晩生温州みかん（S1200）の育成～

私が紹介します！

静岡県農林技術研究所
果樹研究センター
果樹生産技術科
中村茂和

一　はじめに

果樹研究センター（旧柑橘試験場）ではこれまでに柑橘の5品種を登録し、うち、温州みかんは3品種となっています（表1）。

	品種名	登録年	備考
	ビューティーメイプル	1984	交雑実生
○	駿河紅温州	1984	珠心胚実生
○	富士見温州	1984	珠心胚実生
○	静丸早生	2012	珠心胚実生
	静　　姫	2016	交雑実生

表1　静岡県で育成した柑橘品種（○：温州みかん）

登録品種の権利には期限がありますので、現時点で静岡県が育種権を持つ柑橘品種は、温州みかんの〝静丸早生〟と中晩柑である〝静姫〟の2品種です。

現在新たに育成した、超晩生温州みかん「S1200（系統名）」の登録手続きを進めているところですが（写真1）、イチゴ等に比べて温州みかんの品種数は多くありません。

写真1　常温貯蔵後のS1200

他県の公設試験場の状況をみても同様な状況であり、この理由として、温州みかんの品種を育成する難しさがあります。

写真2　温州みかん（“宮川早生”）でみられた突然変異
※マルで囲まれた部分が突然変異した箇所（葉と果実の斑入り）

二　新しい温州みかんの育成

「モモ、クリ3年、カキ8年、ユズの馬鹿めは18年」の諺に代表されるように、一般的に果樹では結実するまでに多くの時間を要します。消費者ニーズに的確に応えていくためには、常に新しい品種を育成していく必要があります。

新しい品種を育成する方法の一つとして写真2に示すように、これまで栽培されてきた品種の中から異なった性質を持った「変わり種」を見つけ、その特性を調査し、育成を進めていく方法があります。

例えば、温州みかんでは〝寿太郎温州〟のように、〝青島温州〟の枝変わりとして優れた品種が発見されたものがあります。近年では〝陽一郎〟や〝峰太〟も「変わり種」の品種です。

このような「優良な果実等を発見、育成」することは決して簡単な作業ではなく、品種登録まで長い年月を要している場合が殆どで、効率的ではありません。

また、期待する特性を持った品種を人工的に掛け合わせることにより、新しい品種を育成する「交雑育種法」があります。特に野菜などでは新たな品種を育成する上では、有用な手法となっています。しかし温州みかんの場合、このような手法を利用した育種は時間や労力の面からみて極めて困難となっています。

温州みかんを含めた柑橘の育種を進めていく上で、育種法の選択や育種年限の短縮化、その一連の調査作業における効率化は重要な課題になっています。

三　重イオンビームを利用した人為的突然変異育種法

自然に起きる突然変異に頼らず、人為的に突然変異を起こす方法としてエックス線やガンマ線等を利用する育種法があります。

例えば現在、県内で栽培されている温州みかんの一つである「A-44」は〝青島温州〟にガンマ線を照射し

選抜されたものになります。

当センターでは近年の気候変動の影響により県内産地で問題となっていた浮皮果の発生を抑制し、貯蔵性の高い果実を育成することを目的とし、更に育種年限の短縮化を図ることも期待して、2000年頃から国立研究開発法人理化学研究所の協力の元、重イオンビームを利用した育種法について検討してきました。

重イオンビームは高い変異誘発作用を持つ利点があります。こうした重イオンビームを利用し、超晩生温州みかん「S1200」は育成されました。重イオンビーム照射による育成手順については図1のとおりです。

なお、現在当センターで保有している主な温州みかんの二次選抜系統は重イオンビーム照射系統になっています。

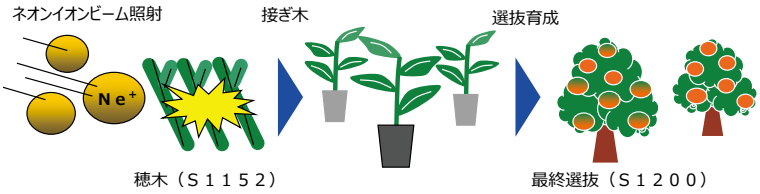


図1　重イオンビームを利用した育種

四　超晩生温州みかん（「S1200」）

超晩生温州みかん「S1200」の育成経過については、2001年9月に〝青島温州〟の珠心胚実生系統である「S1152」の穂木へ重イオンビームを照射することからスタートしました。照射した個体の中から目的に合った果実品質を調査、選抜してきました。2019年に果実品質が安定していることを最終確認し、育成を完了したものです（写真3）。

果実の特性ですが、その外観は〝青島温州〟とほとんど変わりませんが、収穫時期は〝青島温州〟より約1ヶ月遅く、貯蔵に向いた特性を持っています。中でも浮皮果になりにくい点があげられます（写真4）。

写真3　S1200（2代目）の様子

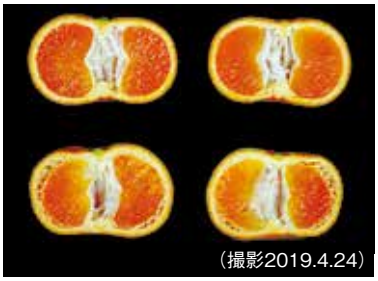


写真4　S1200（2代目、上段）と青島温州（下段）の果実

また、収穫直後の果実の糖度は〝青島温州〟等と同等でありながらも酸度が高めであるため、通常のみかん貯蔵庫で4月まで貯蔵が可能になります。

このように、超晩生温州みかんを活用することにより、図2に示すような収穫作業の分散が可能で、市場出荷量が少なくなる3月から4月における消費者の需要への対応が可能になります。

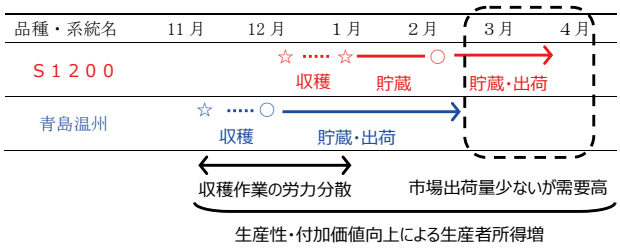


図2　S1200を利用した出荷体系

近年、地球温暖化の影響により、貯蔵中における果実品質や腐敗果発生が心配されていますが、この超晩生温州みかんは気候変動に対応可能な品種の一つになることを期待しています。

五　おわりに

果樹研究センターでは本年度から研究課題名「気候変動に対応した超晩生温州みかんの早期普及とみかん産地静岡の生産力強化」について取組んでいます。本県で育成した新たな温州みかんを県内の生産者に安心して利用してもらえるように現在、関係機関の協力を得ながら課題を推進しています。今後、苗の販売が始まりましたら、当センターで取組んでる情報も併せて公開しますので、今後も引き続き、ご支援、ご協力をお願い致します。

連絡先　静岡市清水区茂畑
静岡県農林技術研究所
果樹研究センター　果樹生産技術科
kaju-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp

建設部からのINFORMATION

担当　建設部　054-284-9523

ＪＡなんすん

企業誘致による資産活用の取り組み
看護付小規模多機能・有料老人ホーム建設工事起工式

令和2年11月12日、看護付小規模多機能（看多機）・有料老人ホーム建設工事の起工式が行われ、関係者20人が出席しました。建設地は沼津市の北部に位置し、市街化区域内農地の土地活用に思案された組合員がJAなんすん不動産センターに相談されました。計画は本会建設課とJAなんすんが連携し、借主である㈱マウントフィールドとのマッチングや、事業計画の提案から賃貸借条件の交渉を行い、建貸方式により土地活用を行うことになりました。本施設は第8次沼津市高齢者保健福祉計画の看多機と有料老人ホームを同じ建物として造ることにより、看護師が常駐した中で主治医と連携・指示のもと、医療依存度の高い方などへ看護師による医療処置を行うことができます。なお、「地域密着型サービス」のひとつとして、地域包括ケアシステムの中心的な役割を担う予定です。この様に本会建設課ではJAと連携し、組合員の資産活用に向けた取組を行っています。

▲起工式のようす

▲完成イメージ図

【営農ナビ】　イントラ版として情報発信していきます！

あぐりんく静岡からのお知らせ

県内JA限定　生産・事業推進に役立つ情報が満載!!

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新　**経済連肥薬通信1月号**
経済連コンサルタントによる技術情報

野菜・花き情報

作物技術原単位、野菜の価格安定事業、「静岡の花」公式インスタ等をご案内しています。

販売情報

市場概況
大田市場、名古屋市場、大阪市場の概況を随時更新しています。

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

JAタウン
しずおか「手しお屋」のオススメ商品

JAタウン手しお屋ショップから
この時期オススメの商品を
ご紹介します♪

JA伊豆の国「静岡いちご食べ比べセット」

今回はＪＡ伊豆の国から、静岡いちごの代表品種「紅ほっぺ」と「きらぴ香」の食べ比べセットをご紹介します！

紅ほっぺは、大粒で甘みとほど良い酸味が調和した、こくのある濃厚なイチゴです。果肉の中心まで赤くなり、香りもいいのでお菓子作りにもオススメです！

きらぴ香は、静岡いちごの新品種。キラキラとした宝石のような「輝き」に、品の良い「甘み」とフルーティーな「香り」。サイズが大きめで、ツヤツヤ光沢のある濃い赤い果皮、果肉は淡い赤色です。紅ほっぺより酸味が少なめなのが特徴です。

韮山・伊豆長岡・大仁地区で栽培された新鮮なイチゴを産地直送でお届け♪ こちらの商品は「買って 食べて 応援！しずおかのごちそう」キャンペーン対象商品で、期間限定、送料無料でお届けいたします！ 自宅用はもちろん、ご贈答にもぜひご利用ください。

担当：営業部 流通開発課（TEL:054-284-9728）

▲JA伊豆の国「静岡いちご食べ比べセット」

もっと近くに美味しいニッポン
JAタウン
www.ja-town.com

しずおか手しお屋 検索

▲商品ページQRコード

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」のご紹介

食糧部は、協賛するテレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（全11回放送・テレビ静岡）で、県下各地のお米のＰＲを行っています。

12月19日（土）の第8回目の放送では、ＪＡ掛川市「掛川コシヒカリ」をお笑い芸人オードリー・春日さんが掛川市・袋井市から紹介しました。番組内ではお米に合う地元グルメや飲食店を紹介し、静岡県産米の美味しさをアピールしました。

また、1月16日（土）の第9回目の放送では、静岡市清水区から今シーズンより新発売する「静岡そだちコシヒカリ」をフォーリンラブ・バービーさんが紹介しました。

▲第8回放送の番組収録（掛川市）

▲静岡県産米をPRする春日さん（袋井市）

オードリー春日の しずおかごはんが食べたい！

担当：食糧部 食糧課（TEL:054-284-9737）

JA静岡経済連
KEIZAIREN情報
毎月1回発行　編集発行／企画　管理課 〒422-8620 静岡県経済農業協同組合連合会　静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
TEL.054(284)9708　FAX.054(284)9780　http://jashizuoka-keizairen.net　E-Mail:keizairen@kei.ja-shizuoka.or.jp

担当：みかん園芸部 野菜花卉課　（TEL 054-284-9714）